

飯舘 百景

緑を取り戻す農地

稲作を再開した水田に、緑の苗が揺れています。村内をめぐると、昨年より一段と、緑の農地を目にするようになりました。たくさんの村民の協力のもとで実施された実証事業、安全確認を経て、現在では、「なりわい農業」「生きがい農業」に、約370件が取り組んでいます。また、畜産や花き栽培などで新規に農業を始める人、移住して農業に取り組む人も、少しずつ増えています。

毎年、一步一步ではありますが、村の農業の再生は、着実に歩みを進めています。左の写真は、八和木地区で高野靖夫さんが耕作する水田です。青空の下で、緑の風が吹き渡っていました。佐野安見さんのリンドウ畑では、昨年から出荷を行っています。目黒正光さんは休耕地を借りて、キャベツを栽培しています。高野吉正さんの小菊栽培は、3年目となります。渡邊とみ子さんは、村内と

避難先とで特産カボチャ「いたて雪つ娘」を栽培し、ボランティアの協力なども得ながら交流活動を行っています。そうした一人ひとりの懸命な取り組みが、いくつもいくつも積み重なって、緑の農地を押し広げているのです。村には、まだいに入入れをされた農地が、本当によく似合います。



高野靖夫さんの水田



渡邊とみ子さんのカボチャ畑



高野吉正さんの小菊畑



目黒正光さんのキャベツ畑



佐野安見さんのリンドウ畑